



Rotary Opens Opportunities

Rotary International District 2800

# 山形西ロータリークラブ会報

会長：佐藤 章夫 幹事：遠藤 正明

地区目標

「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう。

クラブテーマ

Let's Make The Best Better 前へ!

◆点鐘：佐藤 章夫 会長

◆ロータリーソング：蔵王を仰ぐ

◆司会：及川 善大 副S.A.A.

◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2899回例会

令和3年2月1日(月)

## 会長あいさつ

佐藤 章夫 会長



先日、長澤さんのところのフォーラムで、映画『大コメ騒動』というのを見ました。いろいろ考えさせられる内容でしたので、本日の挨拶代わりに感想を申し上げたいと思います。

大正7年、今から103年前、富山県の漁村の女衆が、米の積み出しを実力行使で差し止めた事件が起きました。この事件は全国に波及し、時の寺内内閣を退陣させたほどの大きな騒動になりました。

騒動の背景は、米の末端価格の暴騰です。漁村の主婦たちは、米の値段が高くなることに耐えられなくなっていました。当時の肉体労働に従事するのは、1日、男で1升、1.5キロです。女で8合、米を食べたと映画は語ります。今の国民1人あたり年間消費量は60キロでありますので、それと比べると、これは驚異的な量です。彼女たちは船に積み込む米を倉庫から1俵ずつ背負って、浜辺で待機する小舟まで何回も往復する重労働に従事して日銭を稼ぎ、米を買っていました。

冬の期間、男たちが北海道に漁の出稼ぎ行って留守の間、女衆は家族を飢えさせないために、この重労働に耐え、食べ物、殊に米を確保しようとしていました。米の末端価格が急騰したのは、不作が続いたことに加えて、国策「シベリア出兵」があったからです。兵士たちの駐屯地、遠いシベリアに米を大量に送らなければなりません。大人たちは食を減らして、子どもたちに食べ物を与えていましたが、高値に耐えきれなくなって、米商人の店に押しかけて暴徒化し、浜では船に積み込もうとする米を実力で奪い返しました。今日食べる米を手に入れることに必死だったのであります。

飢饉はどここの国でもたびたび起きました。政治の1丁目1番地は民を飢えさせないこと。これに尽きます。昔も今もこれからも。

今は米余りの日本ですが油断は禁物です。コロナ禍で世界の貿易構造が一変する予感があります。海外からの食料調達が思うようにできなくなったとき、どうやってしのいでいくか、国民を飢えさせないか、これが杞憂に過ぎないことを祈るばかりであります。以上で私の映画の感想をもって挨拶とさせていただきます。

## 幹事報告

遠藤 正明 幹事

- 2月5日金曜日にファイヤーサイドミーティング第3回を予定しております。まだ出欠が全部まとまっておりません至急、お返事のほうをよろしくお願いいたします。
- 2月19日に第2900回の例会です。既に皆さまにはご案内をしているクラブフォーラムでございますが、実は書類の中に会場の記載がございませんでした。この場でお謝りをさせていただきます。例会場でございますので、来週、再来週はこの場でクラブフォーラムを開催いたします。私の不手際で大変申し訳ございませんでした。
- 例会終了後、第8回の理事会を開催させていただきます。関係のある方はお残りをいただいて審議のほどをよろしくお願ひ申し上げます。
- 先般、入会していただいた堀野さんの所属委員会ですが、出席委員会でございます。お願いいたします。
- 今月のロータリーレートですが、本来であればここで皆さんにお伝えをするのですが、今日の午前中段階で連絡が来ておりませんでしたので、どうしてもという方は、明日以降に事務局のほうにお尋ねください。

## 委員会報告

### 親睦・家族委員会

会員の方が12名、奥様が7名、2月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

## ニコニコBOX

### 〈2月1日〉

佐藤章夫会長／結城さんの俳句

『月山の風の転がる花野かな』ロータリーの友1月号に載った結城さんの俳句です。ここに載るのは快挙です。俳句を始めたばかりとお聞きしていましたが、なかなかどうして才能ありと拝見いたしました。今後ますますのご精進あらんことを。

遠藤正明幹事／佐竹さんの卓話、楽しみです

今日は佐竹さんの違う一面についてうかがえるのを楽しみにしています。

新藤幸紀さん／よろしくお願ひいたします

新会員の堀野卓美さんが出席委員会に所属して下さること、大歓迎いたします。

## 会員卓話



「仏教と私(在家出家者より)」

佐竹 耀光 会員

私の家族は一般的な仏教徒です。大学時代にサークルの合宿が京都であり、祖母より「高野山で空海のお祭あっから、じいちゃんの供養してきてけれ、小遣いけっから」と言われ、祖父の戒名とお金を手渡されました。当時高野山では空海入定1150年祭で、空前の仏教ブーム。高野山にて拝観フリーパス券を買って、団体客の後ろについて説明を聞いて楽しんでおりました。高野山金剛峰寺の裏に、空海さんの入定仏があり2度の食事が捧げられます。通常その場所までは行くことができず、この大祭のみの許可だったようです。その後、密教の清めの作法をして御堂に入りました。暗い御堂の中で大きなろうそくが何本も赤々と燃えています。お経が唱えられ、終わると、真言宗大阿闍梨様がいらっしゃり、血脈の授与式が行われました。血脈とは、釈迦の弟子であるという証明書です。今私は真言宗、天台宗、曹洞宗の3つを持っています。

30歳の時に悩み事で瀧山寺のシモムラ住職と出会い、一緒に勤行をするようになり、32歳の時には「羽黒の山伏になってみないか」と言われ、羽黒山修験道本宗秋の峰入に参加しました。修行の内容は六道輪廻と擬死再生、生まれ変わりの儀式です。

出羽三山についてご説明いたします。古より二大修験道の1つで、もう1つは吉野の金峯山寺大峯修験です。羽黒山は崇峻天皇第三皇子蜂子皇子、別名能除太子が開きました。また五重塔は仏舍利塔、山頂の三合殿は月光院というお寺でした。熊野古道が有名ですが、羽黒古道も体験してみてください。廃仏毀釈、神仏分離令以前は、山門には仁王像が祀られていました。現在それらの仏像は羽黒山手向、修験本宗正善院の正面にある黄金堂に安置されております。素晴らしい三十三観音が皆さまをお待ちしております。

「聞くなかれ、語るなかれ」と言われた湯殿山は、真言宗の重要な場所でした。伝説では春日局が徳川家光の病気の祈禱をした所とも言われております。山形の即身仏は湯殿山で修業をしてから仏になります。生きながら仏になるのは空海さんが生きながら入定したことによるものです。

42歳の時に瀧山寺の住職より「そろそろ羽黒山より比叡山に行ってみれば」と言われ、薬師堂にて得度式を行いました。得度式はお坊さんになる儀式です。そして家庭裁判所で改名の審査があり名前をマサミから耀光に変えることができました。

比叡山に参加したのが43歳の時です。四度加行とは日本密教界において修行者が阿闍梨になるための善行です。十八道、金剛界、胎蔵界、護摩の法になります。もちろん真言宗も行います。翌々年に伝法灌頂を授かり、阿闍梨になりました。その年の10月に5年に1度のホウガクリュウイの指定を受け、私にとって本山、比叡山の修行が終わりました。

山を下りてからは、瀧山寺にて1年間に120座の護摩を祈禱、そして2年目より数年間、60座の護摩祈禱、今は毎月18日の観音様の護摩祈禱と、天台宗衆生へ正月の3日間の護摩祈禱をさせていただいております。

続いて、仏教についてお話をいたします。仏教は実践哲学であると言われております。人生は四苦八苦と言われており、四苦とは生、老、病、死、愛する者と別れなければならない愛別離苦、嫌いな人とも会わなければならない怨憎会苦、欲し

ても得られない求不得苦、わけがわからない体から出てくる不平不満、ヒステリーなど、五陰盛苦です。

では、どうしたら安らぎを得るのか。お釈迦さまは4つの真理、四諦を明らかにしています。多くの欲求、煩惱があるからだ。これは集諦。人生は思い通りにならないのが当たり前。苦諦。この煩惱をコントロールできれば苦しむことはない。滅諦。そこに行く方法は何か。八正道を実践すればいいということで、道諦です。

八正道とは何か。これは正見、正しい見解。正思、貪欲、怒り、邪心を捨てる。正語、正しい言葉使いをする。正業、身の3悪、殺生、盗み、邪淫のない行いをする。正命、衣・食・住、その他の生活必需品を正しく求め、他人の迷惑にならないように生活する。正精進、正しい使命、目的を持って常に努力すること。正念、自分よがり、自己でなく正しい心持ちをする。正定、心を常に正しく置いて、周囲の変化にも動かない。

もう1つ、六波羅蜜。日常の暮らしの中で実践できる六波羅蜜の菩薩行があります。布施波羅蜜、持戒波羅蜜、忍辱波羅蜜、精進波羅蜜、禪定波羅蜜、般若波羅蜜。

布施波羅蜜についてご説明いたします。布施はシタとも呼ばれているように、みんなで役立ててください、幸せになってくださいという気持ちで代価など見返りはありません。財施といわれるお金や食事、衣服を施す。法施、仏さまの教えを乞う。無畏施、恐れを取り除いてあげる。慈眼施、やさしいまなざしで接する。和顔施、和やかなあたたかい表情で接する。言辞施、思いやりを持ったあたたかい言葉をかける。捨身施、体を動かして奉仕する。心慮施、思いやりの心をもって接する。壮座施、進んで座席や居場所を譲る。房舎施、雨露をしのげる場所を進んで提供する。この菩薩行である六波羅蜜がロータリー精神であるかなとちょっと感じました。

この八正道と六波羅蜜を行うことは六道輪廻からの解脱と言われております。お経は生きている人に対しての教えでございます。ありがとうございました。

## 新入会員スピーチ

斎藤 豪 会員

昨年度、9月より入会させていただきました山形県水の斎藤と申します。よろしくお願いたします。

山形県水株式会社は、元々、魚の市場のほうにありましたので、その関係で魚の間屋でスタートしております。業者さんから魚を仕入れ、弊社で仕分け・配送まで行うと。得意先様はスーパーマーケット様になりまして、そちらに配送を行うという形でございます。当初は魚の扱いということだったんですけども、少しずつ食品の幅を広げまして、軌道に乗っていったということでございます。

倉庫内で食品の仕分けから配送までを営業が一括で行うと、なかなか商談の時間が取れないという問題が出てきました。その辺を分業化しようということで、ドライバーと営業を分業化しました。そこで、株式会社オネテックという運送会社を立ち上げまして、分社化いたしました。

現在は、卸売りの中でもずっと祖業であります水産部門が少し落ち込んでおりますので、こちらの立て直しと、あと核の事業でありますその運送、オネテックの業績の改善を主軸に、業務のほうを取り組んでおります。

今後とも、しっかりと組織を有能にしまして、社会に貢献していくような会社にしていきたいと思っておりますので、皆さま、是非ご教授のほど、ひとつよろしくお願いたします。

本日出席 (2 / 1)	会員総数	出席会員数
	101名	66名